

Living in Peace 教育フォーラム 2011

Think and Act Now

～子どもの未来のために、いま私たちにできること～

2011年11月3日(木)13:30～@JICA地球ひろば(東京・広尾)

参加者募集のご案内

日本は豊かな国と言われていますが、貧困や虐待などにより、十分な養育を受けることができない子どもたちが実は大勢います。また、残念ながら、こうした環境は、その子どもたちが親になったときに次の世代に引き継がれてしまう傾向にあります。

私たちLiving in Peaceは、2009年より児童養護施設の支援を始め、昨年11月には、寄付プログラム『Chance maker』を開始しました。「生まれ育った環境に関係なく、すべての子どもが平等に未来を夢見て、それに向かって努力できる世の中であってほしい」。それが、私たちの願いです。

今苦しい状況にある子どもたちも未来のある子どもたちです。私たちが幼かったときに、私たちを愛し、支えてくれた大人がいたように、苦しい状況にある子どもたちのために今私たちにできることを、一緒に考えてみませんか？

フォーラムでは、子どもの貧困や人権に関する有識者や施設経験者、施設職員による講演と、パネルディスカッションを行い、児童養護施設の現状や子どもたちの置かれている環境を明らかにしながら、私たちにできることを考えていきます。また、会場内では、NPO法人Living in Peace代表理事 慎の新刊の先行販売なども予定しております。

実施概要

日時： 2011年11月3日(木)13:30～17:30 (13:00受付開始)

場所： JICA地球ひろば(東京・広尾) (キッズルームを用意しています)

定員： 300名(先着)

参加費： 3,000円 ※経費を除いた収益の半額を「筑波愛児園」に寄付

事前申し込み： Living in Peaceホームページより (<http://www.living-in-peace.org/Study/#a1>)

主催： 特定非営利活動法人Living in Peace (<http://www.living-in-peace.org>)

【プログラム】(予定)

第一部 講演 (13:30～15:30)

◇基調講演： 阿部 彩 氏 (国立社会保障・人口問題研究所 社会保障応用分析研究部長)

◇講演①： 土井 香苗 氏 (ヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表)

◇講演②： サヘル・ローズ 氏 (タレント/キャスター)

◇講演③： 山口 公一 氏 (児童養護施設「筑波愛児園」施設長 法人理事)

第二部 パネルディスカッション (15:45～17:30)

阿部 彩 氏、土井 香苗 氏、サヘル・ローズ 氏、山口 公一 氏

慎 泰俊 (NPO法人 Living in Peace 代表理事)

ご参加希望の方は、こちらから
お申し込みを！

<http://www.living-in-peace.org/Study/#a1>

講演者紹介



阿部 彩氏

国立社会保障・人口問題研究所 社会保障応用分析研究部長

マサチューセッツ工科大学卒業。タフツ大学フレッチャー法律外交大学院修士号・博士号取得。国際連合、海外経済協力基金を経て、1999年より国立社会保障・人口問題研究所に就任、現在、社会保障応用分析研究部長。内閣府官房社会的包摂推進室企画官、厚生労働省社会保障審議会臨時委員(生活保護基準部会)などを務める。研究テーマは、貧困、社会的排除、社会保障、公的扶助。『子どもの貧困ー日本の不公平を考える』(岩波新書、2008年)など著書多数。



土井香苗氏

国際NGO ヒューマン・ライツ・ウォッチ 日本代表、弁護士

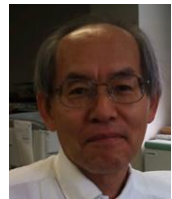
1996年に司法試験に合格後し、1998年東京大学法学部卒。2000年司法研修所終了。2000年から弁護士。普段の業務の傍ら、日本にいる難民の法的支援や難民認定法の改正のロビーイングに関わる。2006年6月米国ニューヨーク大学ロースクール修士課程終了(国際法)。2007年、米国ニューヨーク州弁護士。2006年から国際NGOヒューマン・ライツ・ウォッチのニューヨーク本部のフェロー。2007年から日本駐在員。2008年9月から日本代表。



サヘル・ローズ氏

タレント/キャスター

イラン出身。幼少時代より孤児院で育ち、8歳のとき養母とともに来日。様々な苦難を乗り越え、高校時代から芸能活動を始め、現在、NHK BS1「地球テレビ100」のキャスターに抜擢され、MXテレビ「ザ・ゴールデンアワー」、テレビ朝日「スーパーチャンネル」などでレギュラーを務める。



山口公一氏

社会福祉法人 筑波会 児童養護施設「筑波愛児園」施設長 法人理事

千葉県社会福祉協議会職員を経て1971年から東京都職員として40年に渡り都立児童養護施設(8施設)知的障害者更正施設の指導員 養護係長 ファミリーソーシャルワーカー等を務める。2011年4月1日から現職。著書に『保育の場で出会う「家庭支援論」』『子どもが語る施設の暮らし②』など。東京地区児童養護施設高校生交流会実行委員('93-'07)。仕事をする上では、「施設で暮らさなければならない子どもへ共感を忘れないーその人の心になって身になってー」ということを心掛けている。

主催団体紹介 ~Living in Peace~

貧困削減を目的に2007年10月に始動した特定非営利活動法人Living in Peace(LIP)は、貧困を削減するというビジョンのもと活動しています。発展途上国のマイクロファイナンス機関向けの資金調達スキームの構築や調査、報告などを行い、海外の貧困層の自立支援を実施。さらに、2009年8月からは日本国内の教育問題へも目を向け、「すべての子どもに、チャンス」を標語に、児童養護施設向けの活動を展開している。HP:<http://www.living-in-peace.org/>

JICA地球ひろば 3階 講堂

- 所在地
〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-2-24
- 電話番号
03-3400-7717(代表)
- 交通案内
東京メトロ日比谷線 広尾駅3番出口 徒歩1分

※駐車場はありませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。



<本件に関する問い合わせ先>

livinginpeace.edu@gmail.com / 主催 NPO法人 Living in Peace